

<発行元>

☒社内

☐社外

関連文書

☐あり

☒なし

技術・事故連絡票

<外注部門記入欄>

外注確認日

****年**月**日

外注部門

外注確認者

<発行部門記入欄>

区分

☒事故連絡票

☐技術連絡票

☐特採申請

連絡先

KTN 2品証

殿

管理番号

発行日

2023年01月16日

発行部門

DS品質保証一品質保証

題目

外販投影レンズ 0社向け#117号機

オーダ

KBB00491

ロット

117

数量

1

回答希望日

2023年01月31日

課長

担当者

山木（義）

藤田（悠）

内容

①概要・背景 ②具体的な依頼・報告内容 ③その他

①0社向け投影レンズ#117号機の製造工程中、ANAM0アクチュエータのケーブル被覆が一部剥がれていることをKTN3調整殿が確認した。関係部署間の取り決めにより、当該部品をメーカーへ返却し修理を依頼する方針とした。しかしながら、その処理が滞留、加えて出荷時期の前倒しにより、上記方針が取れなくなったとして、3調整課の判断で当該部品を未処置のまま出荷した。

②関係部署間での取り決めで実行出来なかったこと、独断で出荷したことに対する是正をお願い致します。（原因とその再発防止策の策定）

<受付担当部門記入欄>

回答指定日

2023年01月18日

受付日

2023年01月18日

受付担当部門

DS品質保証一品質保証

上記の件御回答を

2023年01月31日

までにお願いします。

回答依頼部門

KTN 1レンズ2品質保証

担当者

藤田（悠）

備考

<回答部門記入欄>

回答の内容

①原因 ②再発防止策（暫定、恒久に区別） ③処置・スケジュール ④波及性の有無 ⑤未然防止策 ⑥その他

1. 原因
・品証殿より当該部品交換の依頼があったが、後続号機の部品も同様の不具合があり交換する部品が無かった。
・# 1 1 6号機が出荷に間に合わず、代替えとして# 1 1 7号機を先に出荷することになった。
上記から納期を優先しアクチュエータの配線を曲げなければ被覆は剥き出しにならないことから問題ないと自職場のみで判断して交換しなかった。

2. 再発防止策
・諸事情があるなかでも自職場での勝手な判断を行わず、生産をストップして品証殿から使用可否の判断を頂いてから生産を再開する。

回答日

2023年06月28日

回答部門

KTN 1レンズ2品質保証 1品証

課長

担当者

齋藤（哲）

稲垣（嘉）

<受付担当部門記入欄>

処置後の確認

☐要

☒否

回答確認日

2023年06月29日

課長

担当者

矢野（人）

藤田（悠）

内容

不適合または不適合の疑義がある部品の流動について、規定されていることを確認しました。課内規定の周知徹底を引き続き宜しくお願い致します。

処置確認完了日

年 月 日

課長

処置確認担当者

配布先

DS一開発・技術...

DS二開発・技術...

添付資料

☒あり

☐なし

文書管理番号

GJR-16042023-000001-00

<発行部門記入欄>

内容

①0社向け投影レンズ#117号機の製造工程中、ANAM0アクチュエータのケーブル被覆が一部剥がれていることをKTN3調整殿が確認した。関係部署間の取り決めにより、当該部品をメーカーへ返却し修理を依頼する方針とした。しかしながら、その処理が滞留、加えて出荷時期の前倒しにより、上記方針が取れなくなったとして、3調整課の判断で当該部品を未処置のまま出荷した。

②関係部署間での取り決めを実行出来なかったこと、独断で出荷したことに対する是正をお願い致します。（原因とその再発防止策の策定）

③現品に対する処置は光学設計に判断を依頼中。#117号機への処置が必要な場合は別途品連を作成し処置する。なお、本事象は後続号機（#118, #119, #120, #121, #122, #123）でも事象が発生中。

<回答部門記入欄>

回答の内容

1. 原因

- ・品証殿より当該部品交換の依頼があったが、後続号機の部品も同様の不具合があり交換する部品が無かった。
- ・# 1 1 6号機が出荷に間に合わず、代替えとして# 1 1 7号機を先に出荷することになった。
上記から納期を優先しアクチュエータの配線を曲げなければ被覆は剥き出しにならないことから問題ないと自職場のみで判断して交換しなかった。

2. 再発防止策

- ・諸事情があるなかでも自職場での勝手な判断を行わず、生産をストップして品証殿から使用可否の判断を頂いてから生産を再開する。

止むを得ず一時的にでも不具合のある部品を使用する場合は、交換日程を立て品証に同意を得てから実施する。

3. 処置・スケジュール

- ・# 1 1 7以降は品証殿に全数確認済。

4. 波及性の有無

- ・無し

5. 未然防止策

- ・製造元是正処置が完了するまで部品入荷時に被覆剥がれがないか全数部品チェックを行う。
気になる場合は生産をストップし、品証殿から使用可否の判断を頂いてから生産を再開する。

以上。

第3調整課：太田係長からの回答内容を代筆。